

REX

ダイヤモンド工具:吸塵カッタ

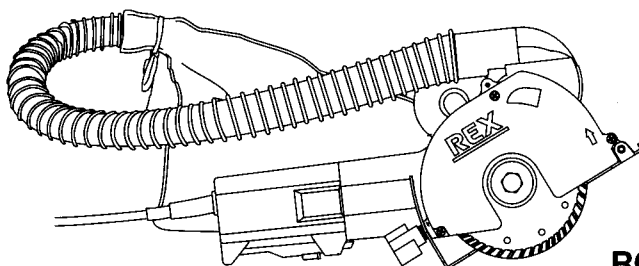
50/60Hz

Q-JIN MASTER

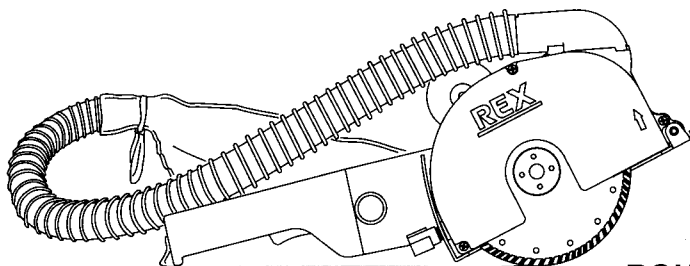
キュージンマスター

RQJ-30 / RQH2-50

共通取扱説明書



RQJ-30



RQH2-50



**ご使用前に必ず
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要ときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月: 年 月

お買上げ店名:



警告

- ① 使用電源は正しい電圧で使用してください。
 - ・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。
- ② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。
 - ・スイッチがONの状態です差し込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ③ 感電に注意してください。
 - ・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
 - ・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。
 - ・アースは必ず接地してください。感電の恐れがあります。
- ④ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。
- ⑤ 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
 - ・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のどがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ⑥ 作業場での周囲状況も考慮してください。
 - ・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気はモータの絶縁を弱めたり感電事故のもととなります。
 - ・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。
- ⑦ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - ・ネクタイ、そで口のあいた服、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・作業環境により、保安帽、安全靴等を着用してください。
- ⑨ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してケガの原因になります。
- ⑩ 作業関係者以外は近づけないでください。
 - ・作業以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
 - ・作業以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。
- ⑪ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。



- ⑫ 無理して使用しないでください。
- ・指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
 - ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。
- ・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。
- ⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
 - ・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因となります。
- ⑮ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。
- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
 - ・取扱説明書の「トラブル処置方法」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
 - ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。
- ⑯ 日頃から注意深く手入れをしてください。
- ・付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には変換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべて、ケガの原因になります。
- ⑰ 損傷した部品がないか点検してください。
- ・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
- ⑱ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑲ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。
- ・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。



警告

- ①本機は乾式ダイヤモンドホイール専用です。他の用途や、指定以外の刃物等では使用しないでください。
- ②本機はAC100V専用です。AC100V以外で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。
- ③運転、停止、作業方法や、付属品の取り付け方など、取り扱い方法をよく理解の上でお使いください。
- ④ダイヤモンドホイールの取り付けは確実に行ってください。また取り付けの際にはフランジ等に切粉などの付着物がないか確認してください。取り付けが確実に行われていないと、回転時にブレが起こり、正確な切断ができないばかりでなく、事故やケガの原因となります。
- ⑤ダイヤモンドホイールの取り付け、取り外しの際は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意に作動してケガや事故の原因となります。
- ⑥濡れたコンクリートの切断はしないでください。内部のファンやダクトに粉塵が付着し、破損につながる場合があります。
- ⑦材料を切り離す場合は、切り終りに材料が傾かないように、受け台等を置いてください。ホイールが材料にはさまると、反動で本体が作業側側に突き戻され事故やケガの原因となります。
- ⑧回転が完全に上昇してから材料に当ててください。ホイールを材料に押し当ててからスイッチを入れると、ホイールや本体を破損する場合があります。
- ⑨作業時は左手でフロントハンドル、右手でモータ部をしっかりと保持して、安定した姿勢で作業してください。
- ⑩切断中にホイールの回転が止まった場合は、すみやかにスイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてから本機を切断材料からはなしてください。
- ⑪作業中は必ず保護メガネ、防塵マスク、ヘルメット等を使用してください。
- ⑫使用前にはホイールに異常がないか確認してください。異常がある場合はそのまま使用せずに、すみやかに新しいものと交換してください。
- ⑬モータの定格電流値を超えるような強い力で連続して切断作業を行うと、モータが焼損して発煙、発火する恐れがあります。
- ⑭連続切断長さは2mを目安とし、さらに切断作業を行う場合はモータを空転させ、一度冷却してから使用してください。
- ⑮使用中にモータからの異臭があった場合は直ちに作業を中止し、しばらくそのままモータを空転させて冷却してください。

サーキットブレーカーに関する注意



警告

- ①本機はQ-JIN MASTER専用です。他の機械や用途には使用しないでください。また、使用電流に応じた適用機種をご使用ください。
- ②サーキットブレーカーを作動復帰させる場合は、必ずQ-JIN MASTER本体のスイッチをOFFにしてから行ってください。不意に動き出し事故やケガの原因となります。また、遮断動作後10秒以上経過してから復帰用ツマミを押してください。
- ③サーキットブレーカーは密閉構造ではありませんので、内部に水が入るような場所では使用しないでください。誤作動を起こす恐れがあり、事故やケガの原因となります。
- ④サーキットブレーカーが、電源コードにしっかりと差し込んであるのを確認してから使用してください。
- ⑤外気温などの状況により、作動に若干の誤差が生じることがあります。

各部の名称・標準仕様・標準付属品

Q-JIN MASTER シリーズは粉塵を吸い取る吸塵システムを搭載。作業環境を汚しません。REXダイヤモンドブレード「ブレードマスター」シリーズとの組合せで、最高の性能を発揮します。

■各部の名称

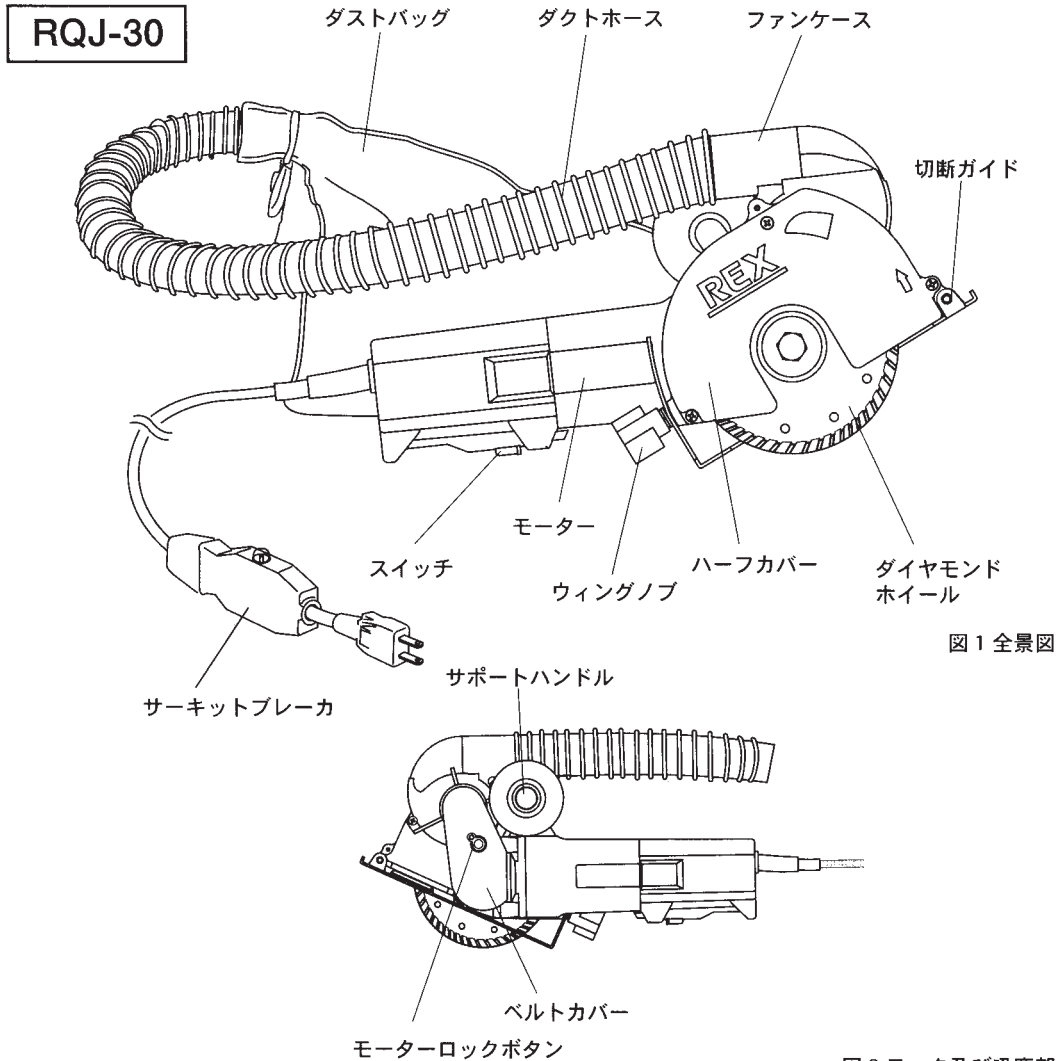


図1 全景図

図2 モーター及び吸塵部

■標準仕様・標準付属品

品名／形式	電圧／電流	周波数	無負荷回転数	全長×全幅×全高	質量	最大切込み	回転方向	最大刃物径
RQJ-30	AC100V/11A	50/60Hz	8750r.p.m	360x175x166mm	3.8kg	30mm	アッパー回転	φ128 穴径φ22

付 属 品	サポートハンドル×1、ダクトホース1m×1、ダストバッグ×1 六角レンチ×1、ダイヤモンドホイール×1
-------	--

表1

各部の名称・標準仕様・標準付属品

■各部の名称

RQH2-50

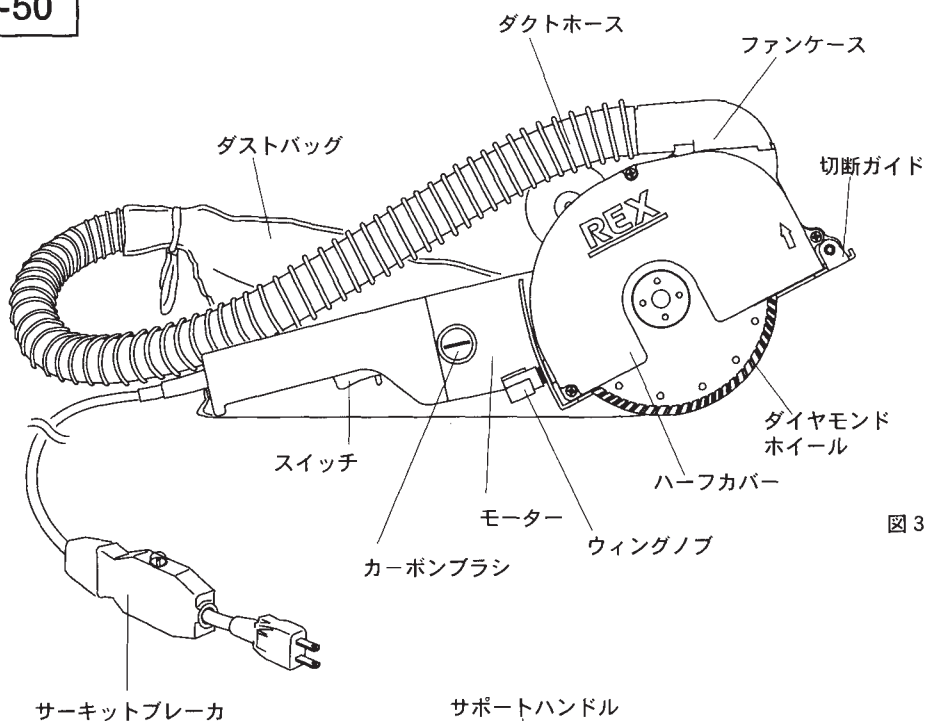


図3 全景図

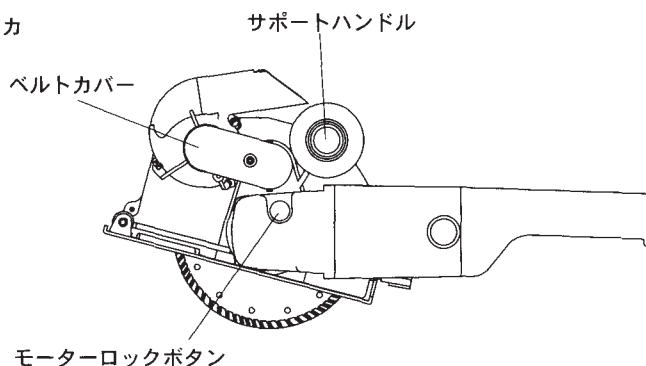


図4 モーター及び吸塵部

■標準仕様・標準付属品

品名／形式	電圧／電流	周波数	無負荷回転数	全長×全幅×全高	質量	最大切込み	回転方向	最大刃物径
RQH2-50	AC100V/12A	50/60Hz	6400r.p.m	500×185×190mm	6.5kg	49mm	アッパー回転	φ180 穴径φ25.4

付 属 品	
	サポートハンドル×1、ダクトホース1m×1、ダストバッグ×1 ピン付きスパナ×1、ダイヤモンドホイール×1

表2

ダイヤモンドホイールの取付け

1.ダイヤモンドホイールの取付け

⚠ 警告

ダイヤモンドホイールの取付け、取外しなどの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

RQJ-30の場合

- ① 本体のスピンドルを上に向け、フランジインナ、ダイヤモンドホイール、フランジアウタの順に組み付けます。(図5)

ダイヤモンドホイールはハーフカバーを外さずに取付けができます。

※ダイヤモンドホイールは、回転方向を確認して取付けてください。

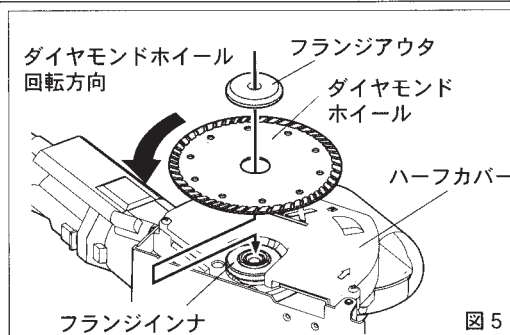


図 5

- ② 反対側のベルトカバー中央部にあるモータロックボタンを押してモータの回転をロックします。(図6、7)

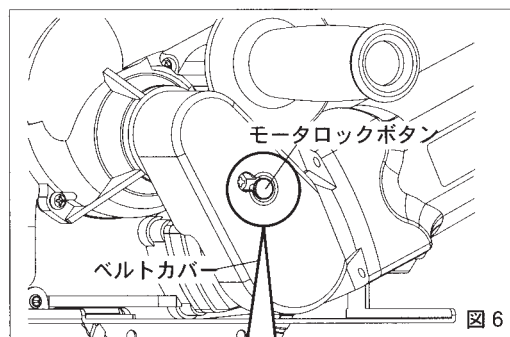


図 6



図 7

- ③ そのままモータロックボタンを押しながらボタンボルトを付属の六角棒レンチで締めつけてください。締め付けたら六角棒レンチは必ず外しておきます。(図8)

⚠ 警告

使用前に工具類は必ず取り外しておいてください。そのまま使用すると事故やケガの原因となります。

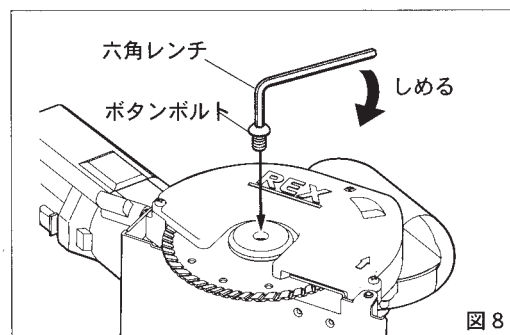


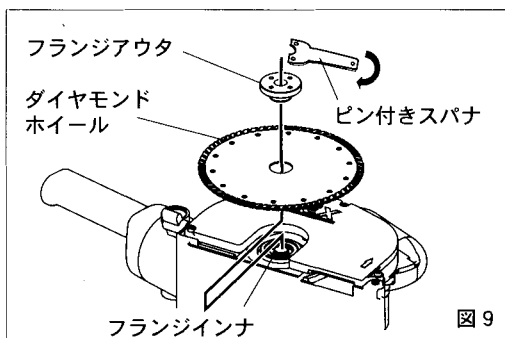
図 8

ダイヤモンドホイールの取付け、ダクトホース、ダストバッグの取付け

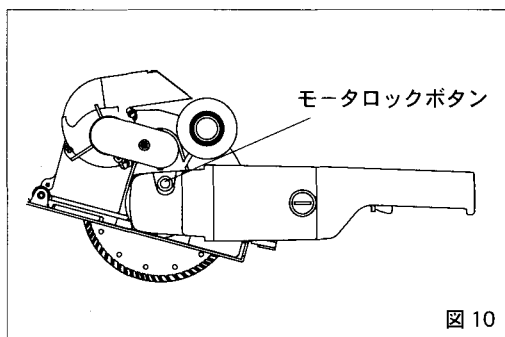
RQH2-50の場合

- ①本体のスピンドルを上に向け、フランジインナ、ダイヤモンドホイール、フランジアウタの順に組み付けます。(図9)

※ダイヤモンドホイールは回転方向を確認して取り付けてください。



- ②モータロックボタンを押しながら、フランジアウタを付属のピン付きスパナで締め付けてください。締め付けたらピン付きスパナは外しておきます。



警告

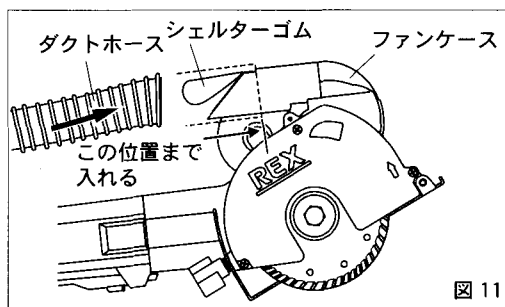
使用前に工具類は必ず取り外しておいてください。そのまま使用すると事故やケガの原因となります。

共通

2. ダクトホース、ダストバッグの取付け

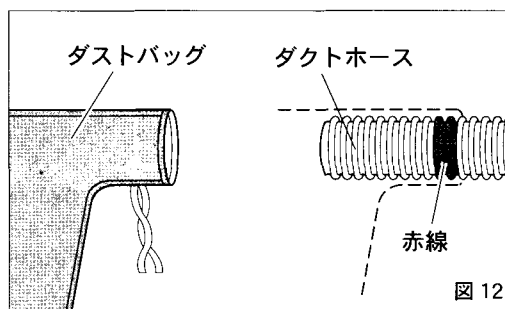
- ①ダクトホースをファンケースの排気口にシェルターゴムが完全に隠れるまで押し込んで取り付けてください。(図11)

※より長いダクトホースが必要な場合は、オプションとしてロングホースを用意しておりますので、お買い求めの販売店、もしくは当社営業所にお問い合わせください。



- ②ダクトホースをダストバッグの中に差し込み、ダストバッグに付いているひもでしっかりと縛ってください。(図12)

※ダストバッグはダクトホースの赤線の位置まで挿入して使用してください。赤線以下の位置で使用すると、ホースの出口がふさがれて吸塵できない場合があります。



注意

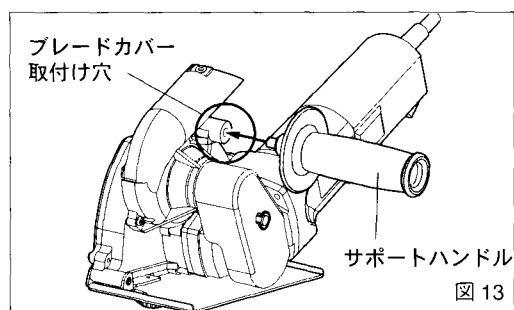
ダストバッグの上に重い物を乗せたり、踏みつけたりしないでください。吸塵できなくなる場合があります。

ハンドルの取付け、切込み深さ調整、スイッチの操作

共通

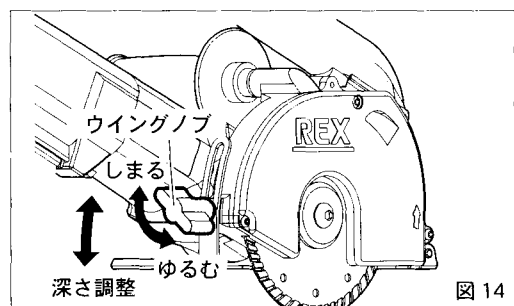
3. ハンドルの取付け

- ① サポートハンドルをブレードカバーの取付け穴にねじ込んで取付けます。(図13)



4. 切込み深さ調整

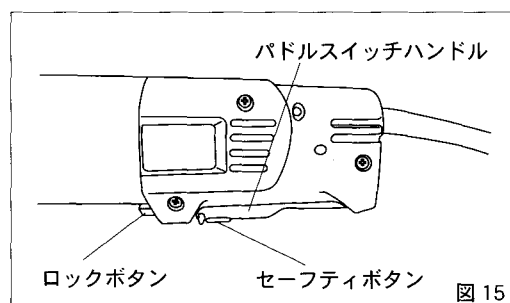
- ① ウィングノブをゆるめ、切断ガイドをスライドさせて調整してください。
- ② 調整後は再びウィングノブを絞めてしっかりと固定してください。(図14)



5. スwitchの操作

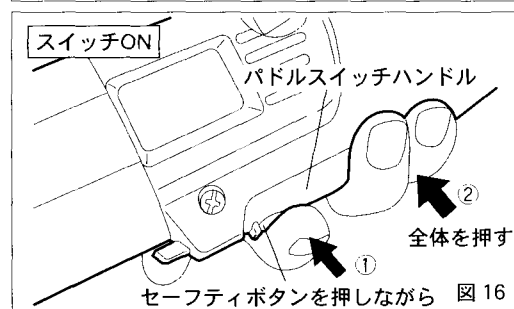
RQJ-30の場合

- ・RQJ-30のスイッチはパドル型になっており、セーフティボタンを押さないと、スイッチが入らない構造になっています。(図15)



スイッチのON、OFF操作 (図16)

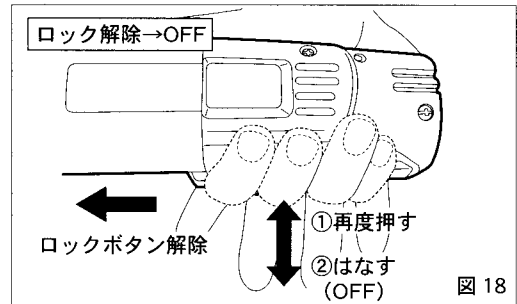
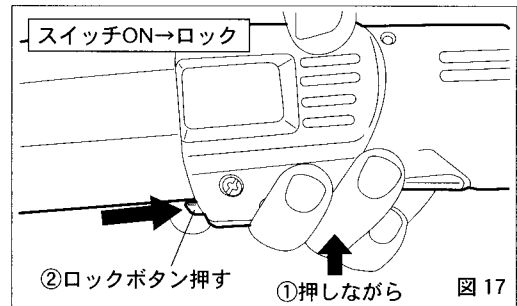
1. モータ後部を上から握り、しっかりと保持します。
2. セーフティボタンを押しながら、パドルスイッチハンドル全体を押すとスイッチがONとなり刃物が回転します。
3. 押している間だけがONとなり、放すとOFFになり刃物が停止します。



スイッチのロック方法（図17、18）

・長い時間連続して切断を行う場合等には、ロックボタンでスイッチをロックしておくことができます。

- 1.セーフティボタンを押しながらパドルスイッチハンドルを押し、スイッチをONにします。
- 2.そのままの状態でもロックボタンを図18矢印の方向に押すとパドルスイッチハンドルがロックされ、手をはなしてもスイッチONの状態が保たれます。
- 3.ロックしている状態からもう一度パドルスイッチハンドルを押すと、ロックが解除され、手を放すとスイッチがOFFになります。



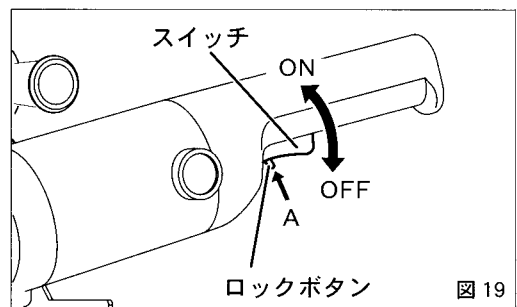
RQH2-50の場合

スイッチのON、OFF操作（図19）

- 1.モータの持ち手部にあるスイッチを引くとスイッチがONとなり刃物が回転します。
- 2.押している間のみONとなり、はなすとOFFになり刃物が停止します。

スイッチのロック方法（図19）

- 1.スイッチをONにし、そのままの状態でもロックボタンを矢印Aの方向に押すとスイッチがロックされ、スイッチから手を離してもONの状態が保たれます。
- 2.ロックしている状態からもう一度スイッチを押すとロックが解除され、手を放すとスイッチがOFFになります。



警告

・スイッチをロックさせて使用する場合は、ロックボタンが解除しているのを確認後、手をはなして下さい。ロックボタンが解除していない状態で手をはなしても、スイッチはONのままで、刃物が回転しているため、事故やケガの原因となります。

切断作業

6. 切断作業

共通

警告

- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、本体のスイッチがOFFになっていることを確認してください。スイッチがONの状態では電源プラグを差し込むと、不意に作動し、事故やケガの原因となります。

持ち方 (図20)

1. 右手でモータ後部を上からつかみます。
2. 左手はサポートハンドルを持ち、ぐらつかないようにしっかりと保持してください。
3. ダストバッグとダクトホースは切断時にじやまにならないよう、後方に逃がしてください。

切断方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にしてください。
2. 回転が完全に上昇したのを確認してから切断作業を開始してください。

※連続切断長は2m以内とし、さらに切断作業を行う場合はモータを空転させ、一度冷却してから使用してください。

3. 底面がフラットになっていますので、被切削材にぴったり付けて作業を行ってください。(図21)

※切込み深さを浅く調整した時、粉塵の吸引力が落ちる場合があります。

※ダストバッグは使い始めに少量の粉塵を出すことがあります。しばらく使用していただくと出なくなりますので、そのままお使いください。

※刃物が被切削材に当たり、切断ガイドが被切削材にぴったりと付くまでの間は、吸塵しにくくなる場合があります。

その場合、切断ガイド前方を被切削材につけ、徐々に切り込んでいくと、粉塵が出にくくなります。(図22)

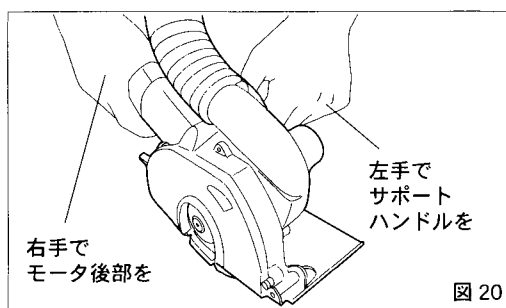


図 20

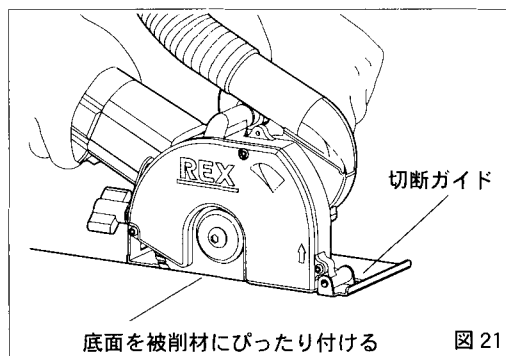


図 21

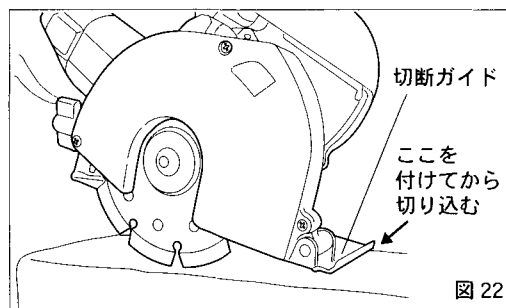


図 22

警告

- ・ジグザグ切断、曲線切り、斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。ダイヤモンドホイールや機械本体が破損し、事故やケガの原因となります。
- ・切断中は本体を切断物に強く押し付けしないでください。事故や破損、モータ焼損の原因となり、発火、発煙する恐れがあります。
- ・使用中にモータからの異臭があった場合は、直ちに作業を中止し、しばらくそのままモータを空転させ、冷却してください。

切断作業終了、サーキットブレーカーについて

切断終了

作業を終えるときは、スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

- ・スイッチを「OFF」にした後も、慣性によりしばらく刃物が回転しますので、完全に停止するのを確認してから機械を置いてください。
- ・濡れたコンクリートには使用しないでください。内部のファンやダクトに粉塵が付着し、破損につながる場合があります。

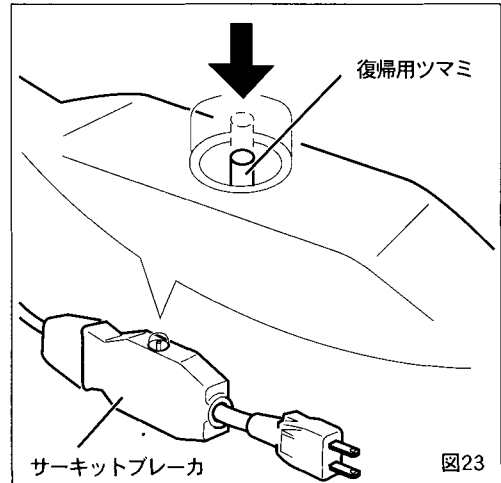
7. サーマブレーカーについて

作業中に無理な力が加わったり、刃物が被削材にかみ込んだりすると、モータ保護のためサーキットブレーカが作動してモータが停止します。停止した場合は以下の手順に従って復帰させてください。

- ① 工具本体のスイッチをOFFにする。
- ② そのまま10秒程度、冷えるのを待つ。
- ③ 復帰用ツマミを押して元の状態に戻す。
(冷えていない状態では戻りません)

⚠ 警告

工具本体のスイッチは必ずOFFにしてからサーキットブレーカを復帰させてください。不意に起動し、事故やケガの原因となります。



■遮断特性

- 周囲温度：25℃
- 定格電流：8A (RQJ-30)
12A (RQH2-50)

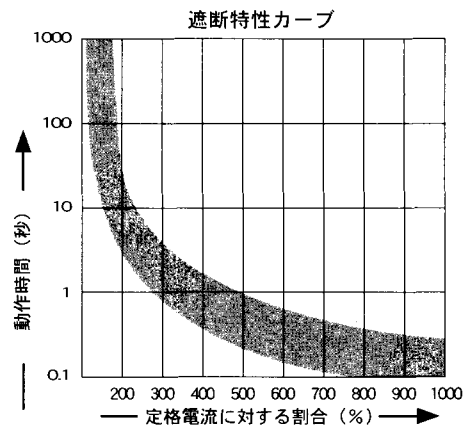


表 3

トラブルシューティング

製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

⚠ 警告

該当する項目や指示がない場合は、ご自分で分解したり修理したりしないでください。
 該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください。」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、当社にお申し付けください。
 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

問題内容	考えられる原因	解決方法
モータが回らない。	1. コンセントが電源プラグに差し込まれていない。 2. モータが故障している。 3. サークットブレーカーが作動している	1. 電源プラグにコンセントを差し込んでください。 2. 指定の形番のモータに交換されるか、修理、サービスを依頼してください。 (交換はP.15参照) 3. サークットブレーカーの復帰用ツマミを押す。(P.11参照)
切れにくい。 (ホイールの回転が遅い)	1. ホイールの取付けがゆるい。 2. ホイールの回転方向が逆になっている。 3. ホイールの目がつぶれている。又はホイールの寿命。 4. モータが故障している。 5. 切断物に対して斜めに切っている。	1. 六角レンチ及びピン付きスパナを使用し、しっかり締め直してください。 2. 回転方向を確認し、正しい回転方向に取付け直してください。 3. ホイールの目立てを行ってください。 又はホイールを新品と交換してください。 4. 指定の形番のモータに交換されるか、修理、サービスを依頼してください。 5. 切断物に対して直角に切ってください。
粉塵を吸いにくい。	1. ファンベルトが取付けられていない。 2. ファンベルトが滑っている。(外れている) 3. ファンに粉塵やゴミが詰っている。 4. ファンが摩耗している。 5. ファンケース内にシェルターゴムが詰っている。 6. ダストバッグが粉塵でいっぱいになっている。 7. ダクトホースに異物が詰っている。	1. ファンベルトを手順に従って取付けてください。(P.13、14参照) 2. ファンベルトの使用面を確認し、正常に取付ける、またはファンベルトを新品と交換してください。 3. ファンケースを開け、ファンの掃除をしてください。(P.13参照) 4. ファンを新しいものと交換されるか、修理、サービスを依頼してください。 5. ファンケースからシェルターゴムを外に出してください。(P.13参照) 6. ダストバッグ内の粉塵を捨てるか、新しいものと交換してください。 7. ダクトホースを取外し、異物を取除いてください。

日常の点検・手入れ (ファンベルト、ファンの掃除)

共通

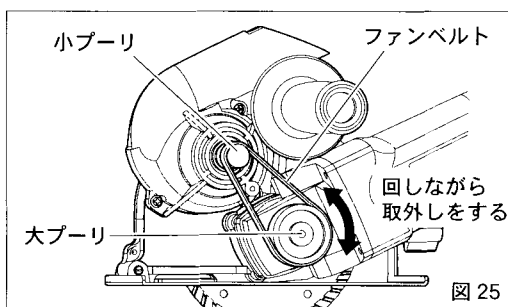
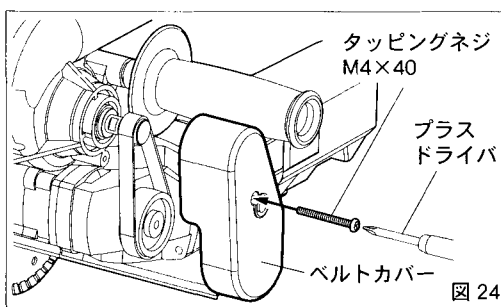
⚠ 警告

- ・ 点検、手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。不意に作動し、事故やケガの原因となります。

■ ファンベルトの掃除

- ① ベルトカバーのねじをプラスドライバで取外してファンケースと分離します。(図24)
- ② ファンベルトを手で回しながら取外します。(図25)

※ファンベルトを取付ける時は、小プーリにかけてから大プーリの端にかけ、プーリを矢印の方向に回しながら取付けてください。



■ ファンの掃除

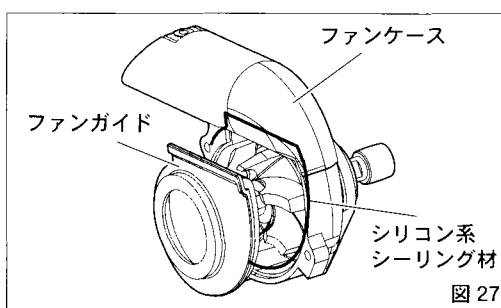
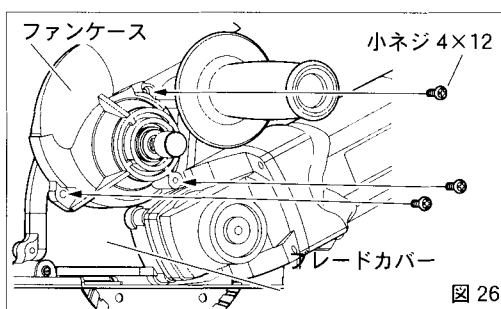
※ ファンの掃除は、ファンベルトの掃除を行っても粉塵の吸い込みが悪い場合のみ行ってください。

- ① ファンケースの小ねじ(3本)をプラスドライバで取り外してブレードカバーと分離します。(図26)
- ② ファンケースとファンガイドを分離します。(図27)

※ファンケースとファンガイドの間にシリコン系シーリング材が塗られていますので、分離しにくい場合があります。

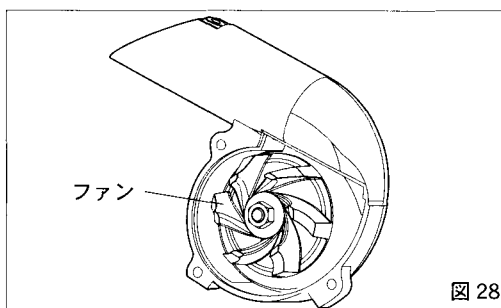
※取付けの際は付着しているシーリング材をすべて取除いた上で、新たにシリコン系シーリング材、または相当品を塗布してから取り付けてください。

※シリコン系シーリング材は塗布後3～4時間置き、乾いてから本体に取り付けてください。



- ③ 内部にあるファンに付着した粉塵やゴミをハケ等で取り除いてください。(図28)

※ファンが磨耗している場合は交換が必要です。最寄りのレックス営業所、又は指定修理店に修理を依頼してください。



日常の点検・手入れ (ファンベルトの交換について、ダストバッグの掃除、交換)

共通

■ファンベルトの交換について

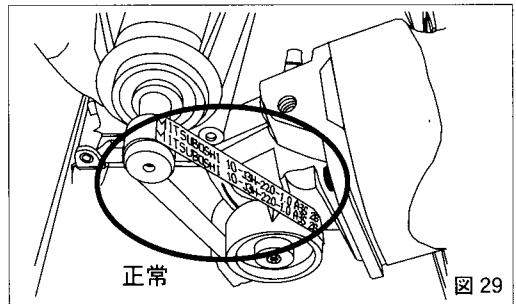
- ・ファンベルトは摩擦伝動ベルトであり、ファンを駆動させるためベルトに適切な張力を与えてありますが、使用状況により、伝動能力の能力の不足や走行状態が悪くなったりすることがあります。

⚠ 警告

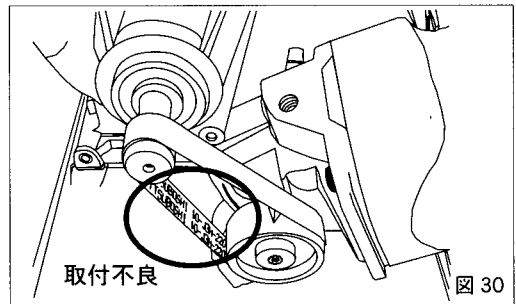
- ・ベルトを交換する際は必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ・回転停止直後は、ベルト及びプーリがかなり高温となっている場合があります。冷えるまで手を触れないでください。
- ・ベルト取り替え時、プーリの摩耗、サビ等が発生していないか注意してください。
- ・ベルトやプーリに油が付着しないように注意してください。
- ・ファンベルトの使用面を確認して取付けを行ってください。逆に取り付けるとスリップする原因となります。
- ・ベルトの取付けは無理なこじ入れをせず、プーリを手動で回しながら取り付けてください。

- ・ファンベルトの使用面について (図29、30)、標準的にプーリ面にベルトの摩擦係数の高い面を使用してください。

表面：光沢面 (印字表示がしてあります)
裏面：研磨面



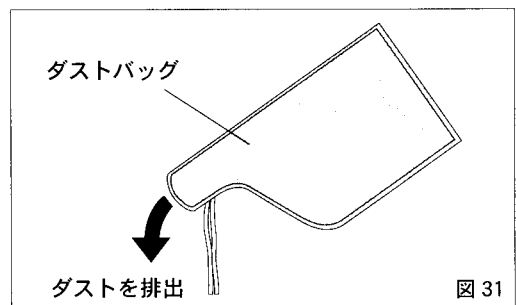
- ・ファンベルトは必ず裏面をプーリ側に取り付けてください。
逆に取り付けるとスリップする原因となります。



■ダストバッグの掃除、交換 (図31)

ダストバッグは定期的に掃除を行ってください。

掃除をしても、本体への吹き返し、又は取付け部分からの吹き返しがある場合はダストバッグを新しいものと交換してください。



■モータについて

RQJ-30の場合

- ① ハーフカバー、ボタンボルト、フランジアウタ、ダイヤモンドホイール、フランジインナを取り外し、奥にあるボルト4本を六角レンチで取り外すとモータが分離します。(図32)
- ② 新しいモータと交換し、逆の手順で取り付けてください。

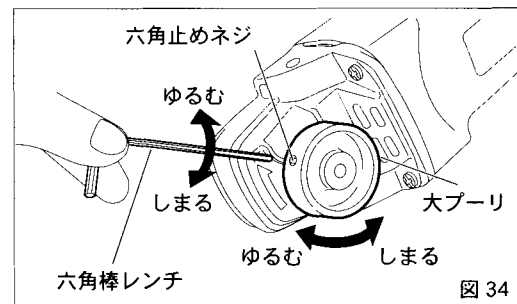
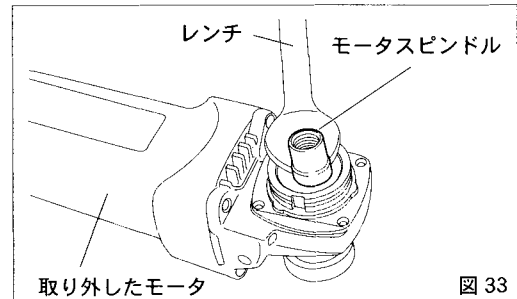
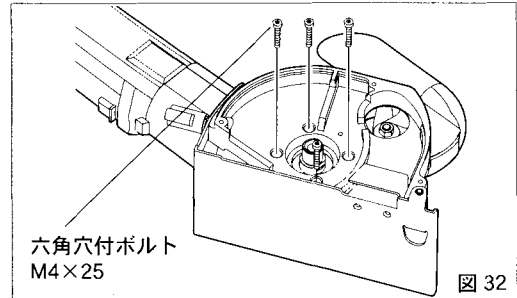
形式	使用モータ品番
RQJ-30	CG01

表 5

※交換の際は、大プーリも取り替えてください。

●大プーリの取り替え

- ① 取り外したモータのモータスピンドルにレンチをかけて、回転しないようにしっかり押えます。(図33)
- ② 反対側にある大プーリに付いている六角止めネジを六角棒レンチでゆるめて取り外します。(図34)
- ③ 大プーリを時計方向に回すとモータから取り外します。(図34)
- ④ 取り付けは逆の手順で行ってください。

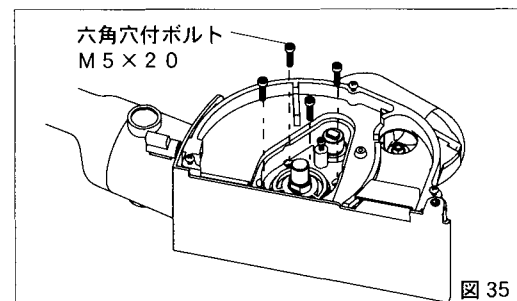


RQH2-50の場合

- ① ハーフカバー、フランジアウタ、ダイヤモンドホイール、フランジインナ、吸塵カバー、ファンベルト250、大プーリを取り外し、奥にあるボルト4本を六角レンチで取り外すとモータが分離します。(図35)
- ② 新しいモータと交換し、逆の手順で取り付けてください。

形式	使用モータ品番
RQH2-50	CE13

表 6



※モータのミッション部を90° 横に向けて取り付けてください。

⚠ 警告

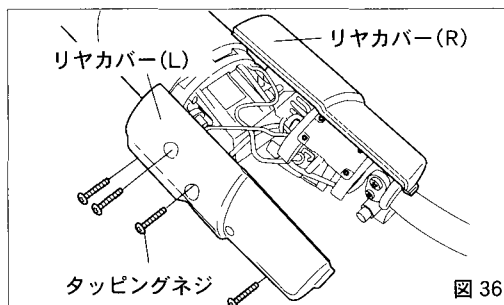
取り付の際は、取り付け面にゴミ等が付着していないか確認してください。

日常の点検・手入れ (カーボンブラシの交換)

■カーボンブラシの交換

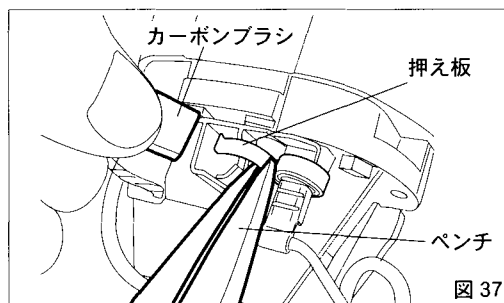
RQJ-30の場合

- ①モータのリヤカバー部のタッピングねじ4箇所をドライバーで取り外します。
- ②リヤカバー(L)とリヤカバー(R)をモータから分離します。



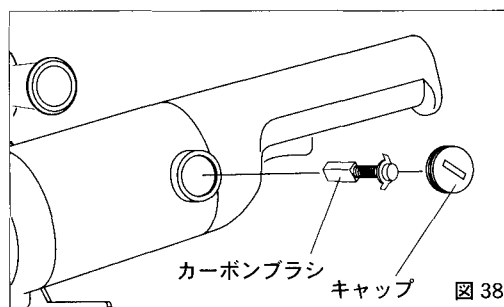
- ③押え板をペンチ等で移動させ、カーボンブラシを取り外します。
- ④カーボンブラシの取り付けは、逆の手順で作業を行ってください。

※モーターのリヤカバーを取付ける際は、電線の挟み込みに注意してください。



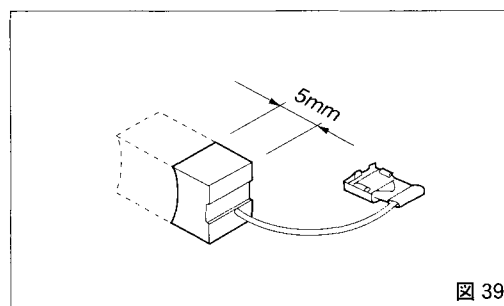
RQH2-50の場合

- ①モータのカーボンキャップをマイナスドライバーなどで取り外します。
- ②カーボンブラシを取外します。
- ③新しいカーボンブラシを逆の手順で取付けてください。



共通

- カーボンブラシは定期的に点検をしてください。カーボンブラシの磨耗が限界を超えるとモータをいためますので、新しいものと交換をしてください。
- 交換の目安は残り5mmです。
- カーボンブラシは2コで一組になっています。交換の際は両方とも交換してください。



形式	使用モータ品番	カーボンブラシ
RQJ-30	CG01	CG62
RQH2-50	CE13	日立工機43番

表 7

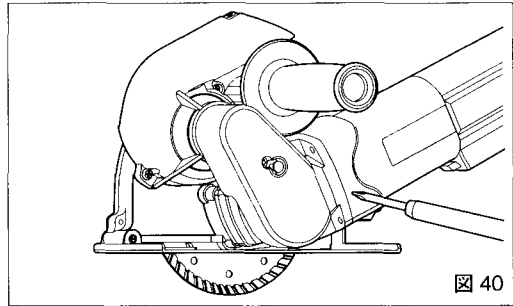
⚠ 注意

カーボンブラシが減りすぎると、モータの故障につながります。
カーボンブラシは定期的に点検をしてください。

■その他各部の点検

共通

- ① 各部のネジやプーリーにゆるみがないか確認してください。ゆるんだものはしめ直してください。
- ② 各部に破損等、異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止し、すみやかに修理してください。
- ③ ホイールの取付けに異常がないか確認してください。ホイールが磨耗している場合は、新しいものと交換してください。



修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらないで、下記のところにご用命ください。

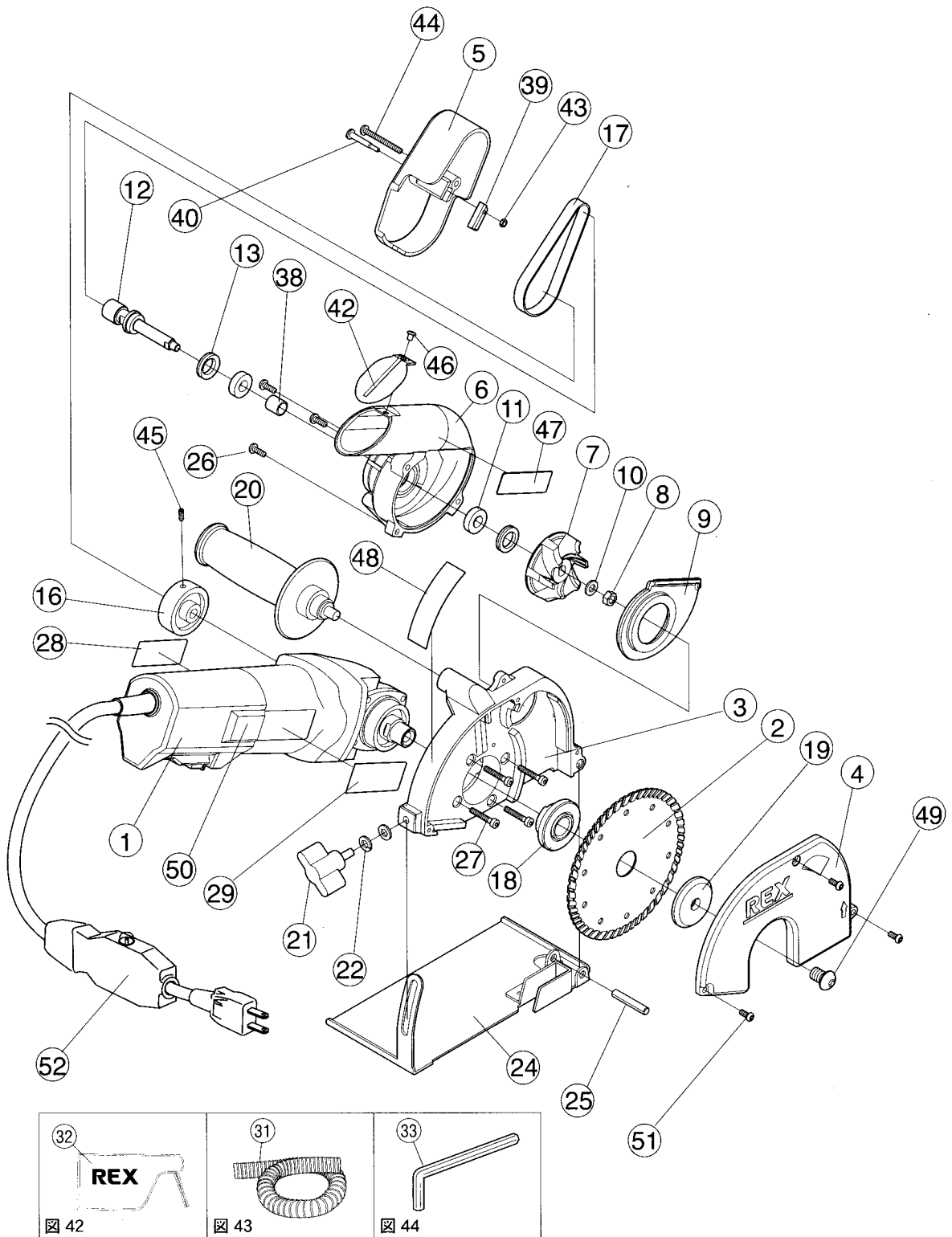
最寄りの { レックス製品取扱店
 { レックス工業営業所(裏表紙参照)
 { レックステクノサービスG 0729-63-1960 }

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

メンテナンス部品の 保有期間について	本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。
-----------------------	---

部品構成表 (RQJ-30)

図 41



部品構成表 (RQJ-30)

部品構成表

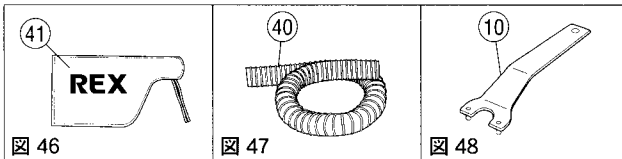
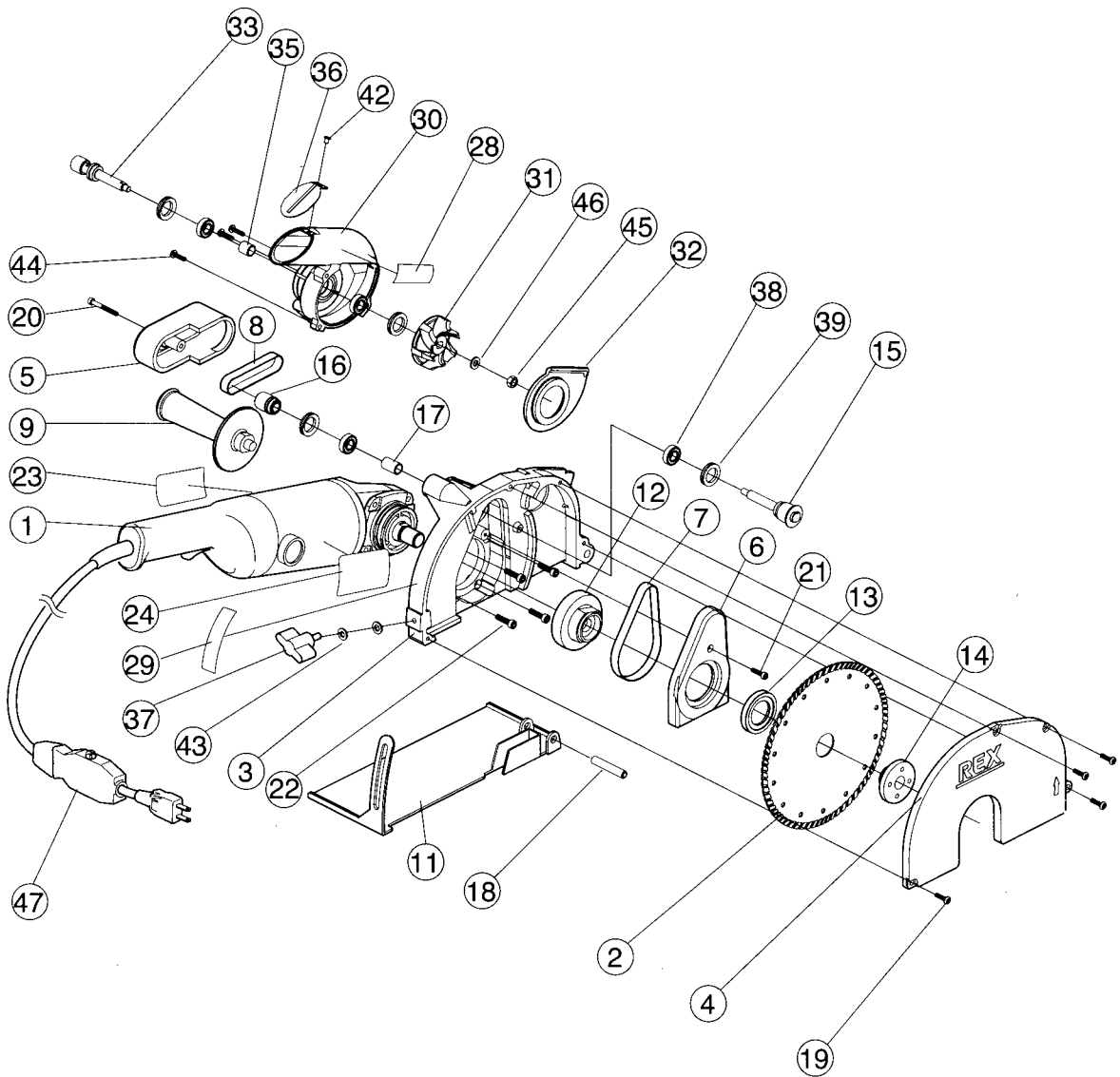
機種名: RQJ-30

品番: No.460505

seq.	コード番号	部 品 名	数量	材 質	規 格	備 考
1	CG01	モータ	1		100V/11A	
2	XD520S	ブレード花5B(機械付き)	1			
3	CG02	ブレードカバー	1	AC4A		
4	CG03	ハーフカバー	1	PC		
5	CG04	ベルトカバー	1	ABS		
6	CG05	ファンケース	1	PA6-GF30		
7	CG06	ファン	1	PA6-GF30		
8	WD060	六角ナット	1		M6	
9	CG07	ファンガイド	1	PA6-GF30		
10	WI620	平座金6	2			
11	CG09	ベアリング	2		699ZZ	
12	CG10	ファン軸	1	SS400		
13	CG08	オイルシール	2		VR-16A	
14	CG12	インサート	1	S45C		
15	CG11	ニードルベアリング	1			
16	CG14	大ブーリ	1	SS400		
17	CG15	ファンベルト	1	ポリエステル		
18	CG16	フランジインナ	1	S45C		
19	CG17	フランジアウタ	1	S45C		
20	CG18	サポートハンドル	1			
21	CG19	ウィングノブ	1			
22	WG6AO	ばね座金-6	1			
23	CG13	ニードルベアリングシール	1			
24	CG20	切断ガイド	1	SS400		
25	WL680	スプリングピン	1		6×35	
26	CG63	十字穴付きなベタッピンねじ	3		M4×16	
27	W0490	六角穴付きボルト	4		M4×25	
28	7A480	銘板シール	1			
29	CG22	モータシール	1			
30	CG23	サーキットプロテクタ	1		定格8A	
31	CG24	ダクトホース	1			
32	QJN10	ダストバッグ	1			
33	ZB260	六角棒レンチ	1		6号	
34	1E300	梱包箱セット	1			
35	6A800	ダイヤモンドホイール取説	1			
36	7A350	Q-JIN取説	1			
37	CG01_SP	スピンドル	1	S45C		
38	CG29	軸受ブシュ	1	SS400		
39	CG33	モータロックバー	1	SS400		
40	CG34	モータロックピン	1	SS400		
41	CG35	ブレーカケース	1	PP		
42	CF12	シェルターゴム	1	天然ゴム		
43	WC030	六角ナット	1		M3	
44	CG59	十字穴付きなベタッピンねじ	1		4×40	
45	CG60	六角止めネジ	1		M4×10	
46	CG61	ハトメ	1			
47	6A770	注意シール 赤	1			
48	6A780	注意シール 銀	1			
49	WA310	ボタンボルト	1		M10×15	
50	CG62	カーボンブラシ	1			
51	CG63	十字穴付きなベタッピンねじ	3		4×15	
52	CE250S	サーキットブレーカー 8 A	1			

部品構成表 (RQH2-50)

図45



部品構成表 (RQH2-50)

部品構成表

機種名: RQH2-50

品番: No.460550

seq.	コード番号	部 品 名	数量	材 質	規 格	備 考
1	CE13	モータ G18SP	1		100V/12A	
2	XD540S	ブレード花7B(機械付き)	1			
3	CJ02	ブレードカバー	1	AC4A		
4	CJ03	ハーフカバー	1	AC4A		
5	CJ04	ベルトカバー	1	AC4A		
6	CJ21	粉塵カバー	1	AC4A		
7	CJ07	ファンベルト250	1	ポリエステル		
8	CJ05	ファンベルト172	1	ポリエステル		
9	CJ10	サポートハンドル	1			
10	CJ16	ピン付きスパナ	1			
11	CJ11	切断ガイド	1	SS400		
12	CJ06	大プーリ	1	S45C		
13	CJ08	フランジインナ	1	S45C		
14	CJ09	フランジアウタ	1	S45C		
15	CJ19	中間軸	1	S45C		
16	CJ20	小プーリ	1	S45C		
17	CJ24	中間軸カラー	1	SS400		
18	WL870	スプリングピン	1		8×45	
19	CJ25	座金組込十字穴付きなべ小ねじ	4		M5×16	
20	W2480	十字穴付きなべ小ねじ	1		M4×35	
21	W0540	六角穴付きボルト	1		M5×15	
22	W0560	六角穴付きボルト	4		M5×20	
23	2V530	RQH2-50銘板シール	1			
24	2V540	RQH2-50モータシール	1			
25	7A350	Q-JIN共通取説	1			
26	1B750	RQH2-50梱包箱セット	1			
27	6A800	ダイヤモンドホイール取説	1			
28	6A770	注意シール 赤	1			
29	6A780	注意シール 銀	1			
30	CG05	ファンケース	1	PA6-GF30		
31	CG06	ファン	1	PA6-GF30		
32	CG07	ファンガイド	1	PA6-GF30		
33	CG10	ファン軸	1	SS400		
34	CG12	インサート	1	S45C		
35	CG29	軸受ブシュ	1	SS400		
36	CF12	シェルターゴム	1	天然ゴム		
37	CG19	ウィングノブ	1			
38	CG09	ベアリング	4		699ZZ	
39	CG08	オイルシール	4		VR-16A	
40	CG24	ダクトホース	1			
41	QJN10	ダストバッグ	1			
42	CG61	ハトメ	1	真鍮		
43	WG6A0	ばね座金-6	1			
44	CG21	十字穴付きなべタッピンねじ	3		M4×16	
45	WC060	六角ナット	1		M6	
46	WI620	平座金6	2			
47	CE260S	サーキットブレーカ12A 機械付	1			

表 9



レッキス工業株式会社

東京支店	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
高松営業所	〒760-0072	高松市花園町3丁目7番22号	Tel.087(834)3982
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:00